
主にヤンデレなエッセイ

うな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

主にヤンデレなエッセイ

【Nコード】

N2727Y

【作者名】

うな

【あらすじ】

徒然なるままに書き連ねた駄文。本日はヤンデレがご所望です。

そういえばエッセイってジャンルもあるから、それっぽいのを書いてみようと思いついたが吉日。すっかり創作意欲がフアビュラスマックスで睡眠時間一時間以下でもまあなに気にすることはないとナチュラルハイな文章でお送りします。

さて。

ふと我に返って「エッセイって何ぞ？」と考えた時、実はそこまで明瞭な答えがあるわけでないことに気づきます。私の記憶が正しければ、随筆「エッセイだった気がするので特に括りのない徒然なるままに書き散らした散文ということが良いでしょう。」

うん。じゃ、そういうことで。物凄いテキストに書いてもいいとなるといろんな意味で暴走しそうで怖いですがそういう日もあっていいでしょう。いいことにしよう。

そろそろ本題。

といいつつ、特に何か主張があって書き始めたわけではないので本題もクソもないわけで。でもそれは流石に不味くないかい？と若干焦りながらそれでもピスタチオはいつものように美味い。高いのがたまに傷。

閑話休題。

ではヤンデレの話しましょう。今回のお題はこれに決定。まだ入力してないタイトルも投稿時にはそうなっていることでしょう。

そんで、ヤンデレについてです。

ヤンデレについて知らない人は「桂言葉」「我妻由乃」「竜宮レナ」あたりでググると幸せにはなれないと思いますが、一応私の中の定義で説明をしておきますと、「(主に主人公)のことが好きすぎて愛情表現が常軌を逸している人」となります。まあ、要はキガイです。個人的にはメンヘラでも可。常人には理解出来ない特殊性癖です、はい。

でも好きなものは好きなんだからしょうがないじゃない。

リアルでこの話をするとな上年下関係なくまるでモーゼのごとく人が道を開けるわけですが、だがそれでも好きだ。愛してる。ヤンデレフォーエバー。由乃はユツキーの嫁。

んで。ちょっと真面目にヤンデレを分析してみますと、なんのことはない、女性特有(と言うとフェミニな方々に総攻撃を食らいそうですが)のヒステリックの意図的シンボル化、ヲタク的文脈で言えば萌え化なのではないかと思うわけです。うん、今考えたから結構テキストだけど、多分そう。

ヒステリック、要は情緒不安定のこと。私はその程度の認識でこの言葉を使っているわけで、普通に考えたら厄介なだけのこの状態を萌え化させるとヤンデレになる。同じヤンなら萌えなきや損損という日本人のエコ意識の賜物ですね、はい。

ヤンデレは他の主要デレ(ツンデレ、クーデレなど)と大きく異なる点が一つあります。それは行動が常識の範疇を遥かに超えて異常であるということです。ちなみにこの常識の範疇というのは多くの場合一人称語り部型主人公の心の声だったりするわけですが、それはさておき。

異常行動、それも好ましくなく法を犯してさえいる場合が多いのがヤンデレ。選りすぐりの精鋭である私はそこに痺れて萌え死ぬわけですが、どうしてマイナス（病んでる）でしかない行動がプラス（萌え）に変換されるのかそこが不思議なわけです。

ギャップ萌え、というには少し過激すぎるのではないか。そもそもその論で行くとツンデレのツン度が上がったものがヤンデレになるのではないか。そんな疑問が私は湧きます。

結論から言うと、ヤンデレはギャップ萌えではありません。無論、完全にそうでないとは言い切れませんが本質は別のところにあると私は思うわけです。

じゃ、どういうことだよ？ と聞かれると「価値の保証」という働きが読み手・視聴者の中で働いているのではないかと私は答えま

す。要は「あんな可愛い子が狂うぐらい好きでいてくれる＝価値がある」という精神状態が心地良いのです。ついでに面倒見のいい人には「つたく、俺がいねえとだめなんだから」と病弱キャラ的な要素も付加される。まったく、ヤンデレは最高だぜ。

とまあ、なんか自分でも釈然としない部分が多いですが。これが今のところの私の結論。主人公（とそれに自己投影した視聴者）の価値を守ってくれる、それがヤンデレなのではないか。こんな感じでしょうかでしょう。

まあ、ギャグとして楽しんでる部分が多いのも事実なんですけどね。

(後書き)

ご意見があれば感想によろしくです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2727y/>

主にヤンデレなエッセイ

2011年11月6日09時12分発行